

議会だより



しろさと



町の花 山ゆり

SHIROSATO



「フラワーロード(御前山地区)」



「あやめ(青山地区)」

6月定例会で決まったこと……	2
審議した議案と各議員の賛否…	5
一般質問町政を問う……………	6
お知らせ……………	14

「しろさとの初夏」

「手這坂より(坏地区)」

# 決まったこと



ホロル君

※大樹スタジオに住む伝説のフクロウ  
性格はやさしく、特技は、スタジオに  
実をならせること。

## 条例改正

▽町職員の給与に関する条例の  
一部改正

人事院規則の改正により、時間  
外手当の算定の見直し

▽国民健康保険税条例の一部改  
正

国民健康保険税の基礎分・後期  
高齢者支援金分・介護納付金分の  
賦課限度額引き上げ

※詳細は、保険課まで

▽国民健康保険条例の一部改正

暫定的に引き上げた出産育児一  
時金の支給額が恒久化されたため  
39万円

▽税条例の一部改正

東日本大震災に係る雑損控除額  
等の特例・住宅借入金等特別税額  
控除の適用期限の特例・固定資産  
税の特例の適用を受けようとする  
方の申告等を規定するため

▽町特別職の職員で非常勤のも  
の報酬及び費用弁償に関する  
条例の一部改正

町災害義援金配分委員会の設置  
▽災害弔慰金の支給等に関する  
条例の一部改正

国において、東日本大震災に対  
処するための災害援護資金貸付の  
特例措置が講じられたため

## 条例制定

▽東日本大震災に伴う城里町立  
学校給食センターの特例に関す  
る条例

常北給食センターが甚大な被害  
を受けたことに伴い、復旧するま  
での間、七会給食センターを利用  
するため

▽東日本大震災に係る災害被害  
者に対する町民税の減免の特例  
に関する条例

個人町民税を被害の程度や所得  
の状況に応じて減免を行うため  
平成23年度分の町民税について  
適用

## 条例廃止

▽老人保健特別会計の廃止に伴  
う経過措置に関する条例の廃止  
老人保健特別会計廃止に伴い、  
出納整理期間が終了したため廃止  
するもの

## 契約の締結

▽町道1号線（徳蔵倉見線）合  
併市町村幹線道路緊急整備支援  
事業

契約金額

70,000,000円

契約の相手方

茨城県知事

契約の方法

随意契約

## 人 事

▽人権擁護委員の推薦

任期満了に伴い、次の方を推薦  
しました。

和田 雅 治氏（阿波山）

小田部 昌 平氏（下阿野沢）

任期

委嘱された日から3年間

# 6月定例会で決

## 平成22年度補正予算

### 一般会計

#### ①追加補正

1億9,980万円

総額 100億8,683万円に

#### ②追加補正（専決処分3月31日分）

△8,836万円

総額 99億9,847万円に

#### 歳入の主なもの

町民税（個人・法人）	1,380万円
地方譲与税	1,229万円
地方消費税交付金	1,308万円
ゴルフ場利用税交付金	1,894万円
国庫支出金	1,012万円
県支出金	△2,971万円
基金繰入金	△1億1,070万円
場外車券売場交付金	△1,251万円

#### 歳入の主なもの

地方交付税（特別交付税）	1億8,980万円
基金繰入金	1,000万円

#### 歳出の主なもの

人件費	1,796万円
災害復旧設計委託	900万円
被害認定調査委託	370万円
ガレキ処理委託	150万円
災害復旧工事	9,680万円
災害復旧補助金	695万円
災害見舞金	100万円
災害復旧繰出金	5,030万円

#### 歳出の主なもの

人件費	△2,091万円
需用費（光熱水費・消耗品費）	△2,345万円
各負担金・補助及び交付金	△1,411万円
各使用料及び賃借料	△544万円
各委託料	△4,212万円
各報酬・賃金・報償	△1,099万円
各工事請負費	△676万円
基金積立金	1億6,769万円
他会計へ	△7,278万円
敬老祝い金	△631万円
老人保護措置費	△553万円
医療福祉費医療費現物分	△1,395万円
自立支援費	△260万円
予防接種業務委託	△159万円
合併浄化槽設置補助金	△341万円
緊急雇用対策費	△1,205万円
町道改良移転補償物件費	△560万円
震災復旧費	△335万円

### 特別会計

#### 6事業特別会計

会計名		補正額	補正後の額	専決処分日
国保	保険事業	△7,079万円	23億1,159万円	3月31日
	診療所	△692万円	2億4,621万円	3月31日
老人保健		△41万円	56万円	3月31日
後期高齢者医療		△3,507万円	1億7,267万円	3月31日
介護	保険事業	△2,307万円	14億7,094万円	3月31日
	介護サービス	△29万円	420万円	3月31日
公共下水道事業		4,319万円	11億4,933万円	3月25日
		△820万円	10億9,673万円	3月31日
農業集落排水事業		711万円	11億6,145万円	3月25日
		△394万円	11億5,751万円	3月31日
水道	収益的収入・支出	567万円	7億5,557万円	3月31日

## 平成23年度補正予算

### 一般会計

#### ①追加補正（4月15日専決処分）

8億3,008万円

総額 105億2,308万円に

##### 歳入の主なもの

地方特例交付金	74万円
災害復旧費国庫補助金	3億3,814万円
基金繰入金	3億5,200万円
市町村振興協会交付金	1,000万円
町債	1億2,920万円

##### 歳出の主なもの

農地農業用施設災害復旧費 (工事請負費・負担金)	725万円
公共土木施設災害復旧費 委託料	1億4,228万円
工事請負費	5億4,481万円
災害復旧補助金	4,483万円
災害見舞金	400万円
災害援護資金貸付金	2,950万円
他会計へ	2,805万円

#### ②追加補正

1,964万円

総額 105億4,272万円に

##### 歳入の主なもの

地方特例交付金	92万円
教育寄附金	500万円
基金繰入金	800万円
消防団退職報償金等受入金	571万円

##### 歳出の主なもの

過誤納還付金及び加算金	300万円
他会計へ	138万円
放射線量測定検査業務委託（保育所）	110万円
消防団退職報償金	571万円
放射線量測定検査業務委託（学校関係）	419万円
機械器具購入（学校関係）	131万円

### 特別会計

#### 4事業特別会計

会計名		補正額	補正後の額	専決処分日
介護	保険事業	138万円	14億4,950万円	
公共下水道事業		2億5,022万円	13億8,556万円	4月15日
農業集落排水事業		1億3,760万円	7億3,217万円	4月15日
水道	収益的収入・支出	456万円	6億7,713万円	4月15日
	資本的収入	5,343万円	2億7,341万円	
	資本的支出	5,343万円	5億468万円	

※専決処分とは、予算の執行など議会の議決が必要な案件で、緊急の場合、地方自治体の首長が議会に諮らず、自ら決めることが、地方自治法で認められており、次の議会で承認を求めることが必要である。

審議した議案と各議員の賛否(第2回定例会)

第2回定例会の議案等の表決を賛成に○、反対を×、欠席をーで表示してあります。

議案名	藪部一	余水紀夫	三村孝信	河原井大介	関誠一郎	加藤文夫	阿久津則男	桐原健一	小林祥宏	南條治	杉山清	三村由利子	小松崎三夫	鯉淵秀雄	根本正典	小坪孝
平成22年度一般会計補正予算(第8号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
農業集落排水事業特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
職員の給与に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国民健康保険税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国民健康保険条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
東日本大震災に伴う城里町立学校給食センターの特例に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成22年度一般会計補正予算(第9号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国民健康保険特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
老人保健特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
後期高齢者医療特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
介護保険特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公共下水道事業特別会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
農業集落排水事業特別会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
水道事業会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成23年度一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○
公共下水道事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
農業集落排水事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
水道事業会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
東日本大震災に係る災害被害者に対する町民税の減免の特例に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
老人保健特別会計の廃止に伴う経過措置に関する条例の廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事委託契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成23年度一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
介護保険特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員の推薦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大幅増員と夜勤改善で安全、安心の医療・介護を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長のため採決に加わっていない

請願審査結果

▽町立かつら保育所存続に関する請願

閉会中の継続審査

町の財政状況や社会情勢を踏まえ、更に慎重に審議することが必要なため

陳情審査結果

▽大幅増員と夜勤改善で安全、安心の医療・介護を求める陳情書

採択

看護師等の大幅増員を実現し、安全で行き届いた医療・介護の拡充を図るため

※意見書を内閣総理大臣ほか関係大臣に提出しました。

発議

▽議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

提出者

小林祥宏

議員報酬月額を7月分〜12月分まで一律5%削減するため

# 一般質問

# 町政を問う

今回7人が質問し、  
その要約を掲載しました。

南 條 治 議員 …………… 7 P

- ・地震復興について
- ・3月11日以降の地域防災について

杉 山 清 議員 …………… 8 P

- ・地域コミュニティと避難所対策
- ・消防団再編と組織について
- ・支援、災害物資、情報伝達
- ・原子力災害対策（EPZ）
- ・罹災証明と対応について
- ・復興対策課設置について
- ・地域活性化について

三 村 由利子 議員 …………… 9 P

- ・震災対策についての検証
- ・放射線対策について

関 誠一郎 議員 …………… 10 P

- ・大桂大橋の被害状況について
- ・桂保育所について
- ・震災復旧工事について
- ・モニタリングについて
- ・自主防災組織について
- ・本庁舎について
- ・七会診療所建設について

三 村 孝 信 議員 …………… 11 P

- ・本庁舎、桂支所について
- ・七会診療所について
- ・農産物について
- ・防災行政無線について

桐 原 健 一 議員 …………… 12 P

- ・学校耐震化について
- ・避難場所について
- ・修繕費助成について
- ・常北幼稚園について
- ・震災に伴う塀・屋根瓦の処理について

加 藤 文 夫 議員 …………… 13 P

- ・地域の防災について
- ・職員異動について
- ・広域農道について

## 地震復興について

**南 條**

震災について、

1日でも早い復興を見据えた中で何う。町の被害

路線・小規模亀裂多数。橋梁関係で大桂大橋が被害。

状況は。

**町 長** 本庁舎・桂支所・教育関連施設等々に甚大な被害。順次改修工事等着工していきたい。

**南 條** 本庁舎の今後は、建替えを急ぐべきと考えるが。

**町 長** 損傷がひどく休館している。埋立地に建設したという経緯もあり建築士に現況調査をお願いしている。

対応を望むが。

**町 長** ハザマ研究所のデータによると圧縮強度及び付着力が若干低下するものの建設基準強度を

上回ることが確認されている。特に問題はないという報告を受けている。工期については、3週間程、遅れている。

**総務課長** 物的関係で一般住宅全壊12棟・大規模半壊9棟・半壊129棟・一部損壊1,612棟

**町 長** なるべく早くやっていきたい。庁舎内の書類、保存文書等整理をしていかなければならない。今年中に終わらせたい。

**南 條** 桂支所が使えないが今後については。

**町 長** 桂・七会で部分給食を行っている。

**南 條** 常北中学校建設について。余震の続く中での建設で強度的に大丈夫なのか。工期について

7

**南 條** 壊公民館について

7

**南 條** 壊公民館について

7

**南 條** 壊公民館について

7

**南 條** 壊公民館について

7

**南 條** 壊公民館について

7

**南 條** 壊公民館について

7

**南 條** 壊公民館について

7

**南 條** 壊公民館について

7

**南 條** 壊公民館について

7

**南 條** 壊公民館について

7

**南 條** 壊公民館について

7

**南 條** 壊公民館について

7



なんじょう 南 條 おさむ 治 議員

## 3月11日以降の地域防災について

**南 條** 区・消防・その他の団体と会議をもったのか。

**南 條** たのが実情。桂消防団の方で大変お世話になった。

**町 長** 会議そのものは開催していない。区長・消防団会議の際、被害状況等説明。

**町 長** 集・発信。今後見直しを行い防災計画の中に盛り込んでまいりたい。防災行政無線のデジタル統一を図り計画的に進めてまいりたい。無線関係（アマチュア）についても今後検討。

**町 長** 電気系統が切れ通信手段の迅速さを欠いたのか。



すぎやま きよし 議員 杉山 清

## 地域コミュニティと避難所対策

検討していく。

**杉山** 坏地区避難所（公民館、旧小学校）が被災した。今後、坏小学校校舎の一部改築耐震化と、地域防災計画を考慮し、坏地区の交流の場として校舎を再生しては。

**町長** 坏地区避難所は全て被災し、今後は跡地利用検討委員会で

## 消防団再編と組織について

する。

**杉山** 来年の消防団再編で、幹部研修を増やし、女性団員とOB団員（緊急時）を組織化しては。

**町長** 幹部団員の研修は教養と資質向上を図る上で重要、女性消防、OB団員については、検討委員会で積極的に検討

## 原子力災害対策（EPZ）

**杉山** この件は、JC

○事故以来再三質問した。福島原発圏外自治体でも、EPZを早期に協議すれば、住民の避難は速やかに出来たと思う。町長は、EPZエリア拡大に対し、協議会等で要望して頂けるか。

**町長** 福島県内のEPZ外の自治体でも計画避難が行われ、区内関係市町村から早期の圏域拡大要望が多く、私も、EPZについては会議等機会の折に発言していく。

## 支援、災害物資、情報伝達

**杉山** 県内外に交流支援自治体を作っては、災害時の水確保は大事で、再々指摘してきた。情報

伝達には防災無線の統一化と集配業務用バイクの活用を考えては。

**町長** 現在、飲料水、

## 罹災証明と対応について

※原災法で「EPZ」とは、原子力防災対策を重点的に充実すべき地域の範囲

**杉山** 震災で町は、激甚被災地に指定。甚大な被害を受けた町の皆様に対し、町義援金、支援制度があるが、隣接自治体を勘案し、制度条例を見直し、金額の修正を考慮しては。

非常食を備蓄しているが、県内外自治体との関係づくりや防災無線、バイクの活用は地域防災計画見直しで検討する。

## 復興対策課設置について

**杉山** 町の次世代を見据え、町の再生に職員OBや一般から公募し復興対策課を置いては。

**町長** 現時点では既存の課、局で対応。今後必要なら設置を検討する。

## 地域活性化について

**杉山** 町の経済発展には、交流人口増が必要不可欠でインフラと拠点整備検証を。

**町長** 人口の交流、受け入れは大事で水戸北IC、県道整備等も市町村圏協議会を通じ促進に当たっていく。

## 震災対策についての検証

たか。

**町長** 小松小・石塚小・常北保健センターに設置。

**三村** 避難所に当初トイレが設置されてなかったが。

**町長** 迷惑をかけたが、自衛隊・リース会社を当たり対応した。

**三村** 避難者をどう把握したか。避難対象外の人もいたということがあったのでは。

**町長** 避難者本人に住居氏名を記入してもらい、避難してきた理由の問い合わせはしてなかった。

**三村** 被災条件は同じで地域で我慢している住民と避難所における水や食料等の支給に格差があったのではないかと。

**町長** 対応に認識の違いがあった。民生委員、

区長さんと話をしていきたい。

## 放射線対策について

**三村** 教育施設内での放射線の管理はどう行っているのか。

**町長** 役場で週2回定時測量している。

**三村** プールの水は検査しているのか。

**町長** 水を検査し現時点では、放射線物質は不検出だった。

**三村** 校庭の土壌の検査は。

**町長** 補正予算後すめたい。

**三村** 他の予算を縮小してでも各学校に測定器

を配布できないか。

**町長** 予算で各学校に1台ずつ設置しようと思っている。

**三村** 屋根の修理でこれから出る瓦の処分はどう対応するのか。

**町長** 町の財政がきびしいので、今後は個人負担をお願いしたい。

**三村** ライフライン・置後、通常給水は3月26日からであった。

**町長** 県内全域停電の為、中部電力からの支援で、3月13日七会方面、3月14日夕刻に石塚方面、最後に上入野方面が順次通電となった。

**三村** 水道の復旧状況はどうだったのか。

**町長** 町内全浄水場が断水し漏水確認と応急処

**三村** 停電により電話が不通となり通信手段が絶たれた。情報不足から詳細に伝達できなかった。今後は初動体制の見直しをし、体制の確立強化していきたい。

**三村** 避難所の開設と管理運営に問題はなかったか。

**町長** 迷惑をかけたが、自衛隊・リース会社を当たり対応した。

**三村** 避難者をどう把握したか。避難対象外の人もいたということがあったのでは。

**町長** 避難者本人に住居氏名を記入してもらい、避難してきた理由の問い合わせはしてなかった。

**三村** 被災条件は同じで地域で我慢している住民と避難所における水や食料等の支給に格差があったのではないかと。



議員 三村 由利子



せき 関 せいいちろう 議員

## 大桂大橋の被害状況について

**町長** 国の補助3分の

2、残りは災害復旧事業債を100%充当する。

**関** 工事の時期は、

**町長** 11月以降である。

**関**

台座、ポルトの破損、橋脚のクラック等、甚大な被害であるが、補修費の負担は、



橋脚部分



大桂大橋（桂地区）

## 桂保育所について

**関**

被害状況は、再会の考えは、

**町長** 施設全体で崩壊

し危険であり、休園している。今後民間保育を推進して行く。



桂保育所（現在）

## 震災復旧工事について

**関**

10

0%近く町の業者で施行できないか。

**町長** 特殊

な工法、設備以外は原則町内業者へ発注を考えている。

## モニタリングについて

**関**

県に於いて月2回測定しているが速やかに公表できないか。

**町長** ホームページで掲載している。

**関** 土壌の検査をし、公表すべきでは。

**町長** 今後は学校施設の土壌検査を予定している。農地については町は、該当していない。

## 自主防災組織について

**関**

町では、54区の中で12区が組織されているが、この震災で対応できたのか。

**町長** 地域住民が連携して協働を基本とした組織であるため、指導する

## 本庁舎について

**関**

早急に検討委員会を立ち上げては。

**町長** 本年度解体の設計、来年度解体予定である為早く検討委員会を立ち上げる。

## 七会診療所建設について

**関**

今回の震災に於いても開業しているが、庁舎建設の先が見えない。中での建設は次期尚早ではないか。

**町長** 30%負担の過疎債を使い、又県補助15%がある為この時期に建設したい。



議員 三村 孝信 (みむら たかのぶ)

## 本庁舎、桂支所について

三村 余震

三村 余震  
が続く中、本庁舎、桂支所庁舎とも倒壊の危険がある。専決処分で解体の設計をしているのだから、来年度実施と言わず、すぐにでも解体に着手すべきではないか。専決をした整合性からも、できれば早い時期に庁舎の取り壊しをやっていききたい。



望楼の撤去作業 (550 t のクレーンを使用)

## 七会診療所について

三村

七会診療所建て

区にとって大切な施設だ。

三村  
替えについては、過疎地域指定により、過疎地域補助金で、予算額の85%が手当できる。この有利な時期に建て替えたということだが、計画の進捗状況を知りたい。

三村  
区にとつて大切な施設だ。建設検討委員会に諮問しているが、結論はまだだ。何とか有利な時期に建て替えたので、協力をお願いしたい。

町長

七会診療所は私

が子供の頃からあり、地

## 農産物について

三村

全県出荷停止と

があり、被害総額は4、

なっているお茶について、

500万円程度になる。

被害状況と今後の対策は。

町長 生産組合やJ A と話し合い早期の損害賠償を求めていく。

産業振興課長

古内地区

が17ヘクタール、七会地

区に8ヘクタールの茶畑

## 防災行政無線について

三村

七会地区は、光

難聴者には全額補助を検

ファイバーによるIP

討してもらいたい。

フォン、桂地区は、戸別

町長 防災行政無線の

受信機の全戸への無償貸

デジタル化に今後取り組

与、常北地区は、難聴対

んでいく中で統一したい。

策として申請すれば1台

その間、5、6年かかる

当たり4万円で、半額は

ので、常北地区の難聴者

個人負担となる。常北地

等については、指摘され

区だけ負担金が発生して

た点を前向きに検討して

いるが見直す時期ではな

いきたい。

いか。独居老人や身障者、



きりはら けんいち 議員  
桐原 健一

## 学校耐震化について

桐原 政府

は、学校の耐震化を2015年度までに完了する方針を発表した。

本町の小・中学校の耐震化について伺う。

町長 教育施設であるので、優先して

耐震化を図ってまいりたい。

## 避難場所について

桐原 避難

場所としての機能強化するために、備蓄倉庫や自家発電装置などの整備が必要ではないか。

町長 七会公民館のほうに、水がボトルで3,000

0本、乾パンを500食、食料品が500食を備蓄してある。自家発電については、検討していく。

## 常北幼稚園について

桐原 常北

幼稚園を民間に指定管理者制度を導入してはどうか。

町長 将来的には、そういうことも考えてやっていかなければならない時期があるのではな

いかと思っ

## 修繕費助成について

桐原

半壊に至らない

屋根瓦、塀、物置などの住宅の損傷に町独自の修繕費助成制度ができないか。

町長

役場本庁舎を始

## 震災に伴う塀、屋根瓦の処理について

桐原

2週間か3週間

とか決めて、もう一度受け入れ態勢をお願いできないか。

町長

4月30日をもつて受け入れを終了した。

今後、屋根瓦の処分等については、修理業者に処分をお願いしていただきたい。



ガレキの集積所となった舟渡団地跡地

めとする多くの施設が被災しており、復旧に多大な費用を要することから、助成制度というものは今は考えていない。

## 地域の防災について

**加藤** 自主防災組織があるが、町全体に防災体制の確立はできないか。

**町長** 平成7年に発生した阪神淡路大震災をきっかけに、国や公共団体にすべてを任せる防災から、役割分担型への防災へと変わりつつある中で、全町全区に組織が設置され、所期が達成されるよう、引き続き啓蒙活動というものをしてまいりたい。

**加藤** 防災ヘリポート



高根地区自主防災会防災マップ

及びドクターヘリポートの数は何力所あるのか。

**町長** 茨城県の防災ヘリコプターが離着陸するための臨時ヘリポートは、現在石塚小学校・桂中学校・桂運動公園・七会中学校の4力所が指定されている。緊急医療用ヘリコプター（通称ドクターヘリ）については、ランデブーポイントは、水戸市の消防本部が現地調査を行い、町内44力所を指

定している。

**加藤** 火災警報器義務化により町で配布した警報器の取付率及び指導方法について。

**町長** 去年6月から、住宅用火災警報器の設置の義務化がされたことを踏まえ、町内全世帯に火災警報器を配布したものである。条例では、罰則規定はないが、シルバー人材センターを活用して、ひとり暮らし、老人世帯等へ設置を、また消防団等の協力を得て、設置指導を推進していきたい。



配布になった火災警報器

## 広域農道について

**加藤** 昭和54年ころ着工したバイパスの完成は、

**町長** 県道阿波山徳蔵孫根バイパスは大字錫高野と大字高根を結ぶ道路であるが、県からは完成までには、もうしばらく年月がかかるとのことである。

**都市建設課長** 錫高野側の約600m区間が合併市町村幹線道路緊急支援事業の三ツ塙線として整備し、この夏には、県道

**加藤** 事務引き継ぎが災害等により、ミスが多いのでは。

## 職員異動について

**町長** 単純なうっかり

ミスなので、今後発生しないよう職員を指導していきたい。



工事状況（錫高野地内）

# 議会を傍聴してみましよう！

今、町ではどんなことが議論されているのだろうか。どんな計画があつてどのように進んでいるのだろうか。みなさんに身近なことです。

どなたでも傍聴できますので、ぜひ一度議会の傍聴にお出かけください。



定例会会場

## 傍聴者報告

第2回定例会(6月14日～21日まで開催) 延べ15人

次回の定例会は9月6日からの予定です。

(コミュニティセンター城里1階 サークル室の予定)

日程など詳しいことは議会事務局へ

**TEL.029-288-3111** (内線 301)

## 編集後記

東日本大震災で、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りすると共に、被災されました皆様に心からお見舞い申し上げます。

去る3月11日を境に『絶対』の神話が一瞬にして崩れ、『想定外』の言葉が飛び交いました。国は、真実を語らず、不安のどん底に落とし入れ今も迷走を続けているのです。国民は、目に見えない不安と戦いながら……

こういう時こそ地方議会は頑張らなければなりません。広報委員一同、一丸となって今後も皆様に親しまれ分かり易い紙面づくりを目指し努力して参ります。

震災の復旧・復興そして創生に向けて。

また、一日も早い福島原発事故の収束を願うものです。

南條 治 記

## 議会広報委員会

委員長 小林 祥宏  
副委員長 河原 大祥  
委員 杉山 清介  
南條 治  
加藤 治夫  
余水 紀夫  
蘭部 一夫